

アルミニウム溶接技能者講習

白川武敏

機械加工グループ

1 はじめに

この数年技術のスキルアップに取り組んできた。自分では始めた頃より数段 TIG 溶接の知識や技術が上がっていると思う。ただ、熟練者がいないために溶接部を評価できないため、この溶接の仕方で良いのか判断できない現状であった。そこで軽合金溶接協会が主催するアルミニウム溶接技能者講習を受け、TN-1F の溶接技能者試験に挑戦することにした。

2 内容

研修先 : ポリテクセンター熊本 (熊本県合志市須屋2505-3)

研修名 : アルミニウム溶接技能者講習

研修日程 : 平成28年7月12日～14日

研修スケジュール		
	午前	午後
1 日目	学科講習 ・ 溶接材と溶接部の特徴 ・ 溶接施工法 ・ 溶接装置の構造と違い	学科講習 ・ 溶接部の試験と検査 ・ 溶接災害防止 JIS Z3811 学科試験
2 日目	溶接実習	溶接実習
3 日目	TN-1F 実技評価試験の練習	TN-1F 実技評価試験の練習
4 日目	TN-1F 実技評価試験	

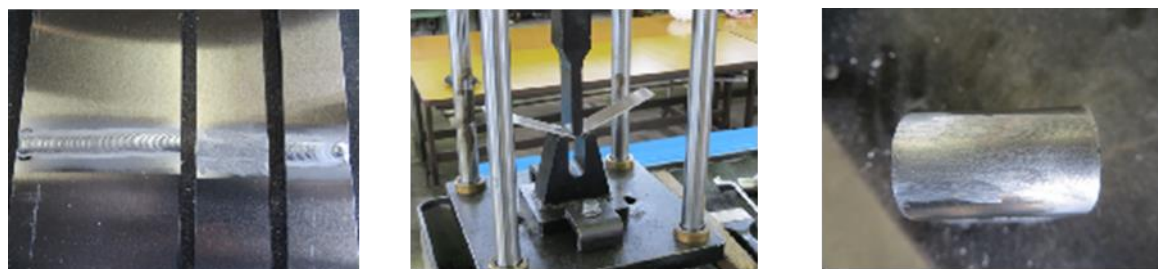


図1 TN-1Fの実技評価試験の練習の様子

3 まとめ

講習では学科と実技があり、アルミニウムの溶接時における特性や各種溶接装置の構造などは意外と知らないことがあり大変参考になった、実技の方は試験内容はある程度分かっていたので事前に練習していたが、いつも使う溶接機と試験会場の溶接機が違っていたので取扱いに戸惑ったり、試験時における注意点などは全く知らなかったので講習会へ参加してよかったと思う。試験本番は、練習なしで行わなければならない不安であったが、無事合格することが出来た。今後はより品質の良い溶接を行っていきたい。